

# 平成30年度 第1回介護保険運営協議会 会議結果

日時 平成30年9月27日(木) 午後3時から

場所 ホテルニューオータニ佐賀 2階鶴の間西

## 【出席委員】

古賀会長、吉原副会長、愛野委員、荒木委員、石丸委員、上野委員、江打委員、岡部委員、片渕委員、傍示委員、北川委員、釘本委員、倉田委員、小井手委員、坂井委員、凌委員、田代委員、田中(須)委員、藤佐委員、藤佐委員、徳丸委員、中下委員、鍋田委員、西山委員、馬場委員、廣岡委員、藤崎委員、松尾委員、吉田委員、吉原委員、田中(稔)委員、熊谷委員

## 【欠席委員】

伊東委員、上村委員、江越委員、久野委員、黒田委員、島内委員、橋本委員、藤瀬委員、

## 【事務局】

岩橋事務局長、石橋副局長兼総務課長兼業務課長、一番ヶ瀬認定審査課長兼給付課長、谷口給付課参事兼副課長兼包括支援係長、宮崎総務課参事兼副課長兼行財政係長兼広域係長、古賀認定審査課副課長兼介護認定第一係長、川原業務課副課長兼業務係長、松枝総務課庶務係長、中島認定審査課認定調整係長、副島認定審査課介護認定第二係長、木村給付課主幹兼給付係長、小副川給付課指導係長、吉岡業務課賦課収納係長

## 【会議結果】

- 1 開会(午後3時00分)
- 2 委嘱状交付
- 3 広域連合長あいさつ
- 4 会長、副会長の選任  
互選により、会長に古賀委員、副会長に吉原委員を選任
- 5 議事

議事1	平成30年度主要事業について	承認
議事2	平成29年度地域支援事業について	承認
議事3	平成29年度地域支援事業主要事業の報告について	承認
- 6 閉会(午後4時40分)

## 【主な委員意見等】

### 議事1 平成30年度主要事業について

#### 案件4 介護予防・日常生活支援総合事業

- ◇委員 平成30年度に一部構成市町が実施主体となる事業として、10月1日から実施される通所型サービスは、住民主体サービスか基準緩和型か。
- ◆事務局 基本的に、基準緩和型となり、小城市と佐賀市で実施される。
- ◇委員 事業の試行を検証しながら、全体的に広域連合の方で実施していくという想定をされているのか。
- ◆事務局 試行的に実施されたものを情報交換しながら、地域に合ったサービスを実施していくことで考えている。
- ◇委員 住民主体サービスについては、全国でも苦勞されているが、広域連合では住民主体サービスに向けて、今後の計画・予定・現状の動きなどあるのか。
- ◆事務局 市町で行っている自主グループの支援策の1つとして、介護予防推進員を自主グループへ派遣し、体操のやり方や介護に関する講演、講習を現在行っている。
- ◇委員 住民の方がどれだけ協力していただけるのか、またシステム化していくのが難しいが、調整は広域連合か構成市町か。
- ◆事務局 地域によって山間地や都市部があり、その地域に合ったサービスについては市町の方が適正なサービスを行ないやすいと考えるため、基本的に広域連合は後方支援的なこととなる。
- ◇委員 介護予防・生活支援サービス事業について、全国で様々な動きがあるので、それらを参考にしながら、また行政だけではなく社会福祉協議会・自治会等団体と協議会が連携していくことで、段階的に進めていただきたい。

### 議事2 平成29年度地域支援事業について

#### 案件1 平成29年度地域包括支援センターの運営状況報告

- ◇委員 小城市のオレンジ大学について、平成25年度より5年間で事業は終わっているが、新たな企画を考えられているのか。
- ◆事務局 継続してやっていくことで考えている。また、オレンジ大学を受講された方を、オレンジサロンにボランティアで参画していただくようつなげている。

### 議事2 平成29年度地域支援事業について

#### 案件2 地域ケア会議の実施状況報告

- ◇委員 市町や市町で吸い上げた意見等を広域連合の地域ケア推進会議では、どういった方策でやられているのか、また、各地域包括個別の事案の課題としてどういったものが、広域連合にあがっているのか。
- ◆事務局 各地域包括で個別課題の検討を重ね、地域の課題として上がっています。こ

これらの課題を地域ケア推進会議にどういうふうに政策として反映させていくのか課題があるが、基本的に課題の多くが市町の課題であり、まずは市町の推進会議、そして連合の推進会議とつなげる必要がある。まだまだ推進会議が機能していないところがあり、第7期事業計画においても、推進会議の機能等をどのように充実していくかが課題と考えているので、運営協議会での意見を聞きながら行っていきたい。

- ◇委員 地域ケア会議の3層構造が機能しておらず全国的な傾向。地域個別会議と地域推進会議で住民主体のサービスに介護をつなげ、住んでいる地域によって差が出ることがないように、力を入れていただきたい。